

社会教育通信

創刊号

メモ帳の話

過日の第一回の会議で社会教育法、他関係
条例等が配布された。もう何年も委員をやっ
ているが、委員の仕事がいまだに頭の中で整
理されていない。

研修会等に参加して他町の活動報告を聞
くと「なるほど、こんなこともやっているん
だな」などと感心する。しかし、他町の活動
をそのまま取り入れようとするとかなり無
理がある。条件が違いすぎるからだ。

私たちは別海町社会教育委員として公民
館運営審議委員としてどの様な心構えを持
ち、活動するべきなのか。

実は第一回の会議で新任の委員の方々に配
布された「社会教育委員メモ」の内容があ

☆発行日☆
2013. 8. 6
☆発行☆
別海町教育委員会
生涯学習課
●TEL
0153-75-2111
(内線3711)
●FAX
0153-75-0637
●E-mail
syougai@betsukai.jp

った。以前にあのメモ帳をもらった記憶があ
ったので家に帰る探し出し開いてみた。

この薄いメモ帳に、委員として活動する内容
がなんとも簡潔に書かれているではないか。
頭の中がスッキリしたような気がする。

そして「そうか、まずは気づくことが大切な
んだな…」と納得した。

皆さんももう一度「社会教育委員メモ」を
引っ張り出しては如何。えっ、もう活用され
ていましたか。大変失礼いたしました。



植樹

六月上旬、上西春別中学校三年の環境学習

「学校林を造る」授業に参加、今年で四年目、
植樹の手伝いをして来た。当日は気温も低く、
朝から小雨が降るあいにくの天気だったが、
植樹には好都合。生徒には、先輩達が毎年、
苦勞して小さな苗を採取し、木を植える事の
意味を学び、苗床で大切に見守り、育ててき
た苗であること、そうした想いと、後輩が受
け継ぐことで初めて植樹が出来ること、とし
て今日、君達の手に「樹の生命」が委ねられ
ることになるので、鉄道公園に移植の際には、
一本一本と真剣に向きあい、やさしく、愛情
を持って接してほしい旨を伝えた。

作業をする生徒からは、丁寧に、苗を慈し
み、大事に扱おうとする、ひたむきな姿勢を
感ずる事が出来、その真剣な態度はとても素
晴らしく、好感の持てるものであり、「今時
の中学生」などといった先入観がとても恥
かしく、感性や、素直さ、集中力は、安定し
た学校生活の一端を、垣間見た感じがした。

植樹が終って生徒達には、これから未来の
自分に向けて、自立の為の巣立ちの時を迎え
る。今日、新たな地で一本立ちをした樹と、
様々な試練に耐え、立派な大木になるに違
ない。君たちが、やがてこの地を離れ、社会

で活躍をする頃、生まれ育った故郷で、その生長を見守り、いつでも待っている。一本の樹がある事を忘れてはいけない。ふるさととの“樹”に決して負けない、まっすぐに、しっかりと大地に足をつけ、逞しく生長する姿に期待とエールを送った。生徒達とは、僅かな時間のふれあいであったが、その態度はとても自然で、すがすがしく、肌寒く雨混じりの天候の内でも、私には爽やかな“一服の風”が吹き抜けた、とても心地良い一日となった。夕食時、家内と今日のことを喋っているうち、気がつけば、晩酌がいつもの二倍……。

、爽やかな 風を着に飲む晩酌に、

今日は特別 もう一杯、



社会教育委員になって

私は自分が社会教育委員になるまでこの

様な委員会があることすら知りませんでした。何をするかもわからないまま事前に送られてきた分厚い資料を見て正直戸惑いました。

それでも今では年数回の会議の中で行政報告を聞き、社会行政・公民館活動など色々な実績を認識する事ができ、今まで自分が関わっていなかったものが見渡せるようになり大変勉強になっています。

その中での意見で各公民館や体育館・図書館などのアクションプログラムの評価ですが、行政評価だけでなく事業に参加した利用者の評価があれば良いのではと思います。主催する側と利用する側で評価のズレがあってもそれは今後の課題を見出せる材料となりより良い事業活動が出来ると思います。

最後に、二年間の任期の中で行政・社会教育委員の皆様と情報交換をし、自分自身学び生長したいと思えますので宜しくお願いします。



メディアコントロール

町の教育行政執行方針の重点として挙げられているのがメディアコントロールです。これまで本町が取り組んできた「早寝、早起き、朝ごはん。テレビを止めて外遊び。」を更にステップアップするための取組です。

6月26日、生涯学習課事業の一つとして上西春別小学校で「メディアコントロール授業」が行われました。NPO子どもとメディア北海道事務局の中谷通恵先生が、電子映像メディア（テレビ・ビデオ・携帯ゲーム等）の子ども達に与える影響を易しく教えて下さいました。子ども達はテレビゲームの脳や心や体に与える恐ろしい影響やケータイ電話のネット世界に潜む恐ろしさを学びました。

周囲の大人がしっかり子どもを守っていかねければならないことは当然ですが、子ども自身も「スイッチ・オフは私の仕事！」「ゲームをしない日を作ろう！」「みんなで元氣

に外遊び！」を合言葉にメディアと上手に付き合っていくってほしいものです。



社会教育委員のつとめとは

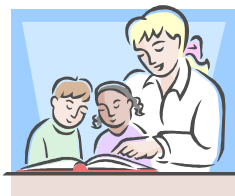
社会教育法第17条により社会教育委員の職務（仕事）がわかります。その役割の広範囲さは驚くばかりです。二年前の51回北海道研究大会に参加させていただいたときの分科会「社会教育委員の活動」で美幌町社会教育委員の取組から「委員として現状と問題点を把握するため研修部門を設置し自らの研鑽に取組、委員の会議に反映させていること」「近隣町村と意見交流会を開催していること」などから、私達も各種「出前講座」を活用し、会議後の一時を自己研鑽してはいかがでしょうか。また、管内社会教育委員研

修会は年1回の開催ですから、見聞と交流を深める絶好の機会と積極的に参加したいものです。（参加数の制限あり・でしょうか）美幌町のお話を聞きながら、委員の立場としてではなく一住民として「私もこの分野では携わっていけない」という共感がありました。社会教育委員としても、「自覚を持ち、その役割を正確に理解し、理念ではなく実践を。連携を図りながら人の役に立つ仕事（活動）をする」、ために研鑽を深めながら行動を起こせばと思っています。「皆さんはどのようにお考えでしょうか？」

〇一読を

ある大会にて、助産師で、福岡県社会教育委員・子育てアドバイザーでもある、内田美智子氏の作「いのちをいなく」の朗読と公演をお聞きしました。食肉加工センターで働く人と牛とひとりの女の子の実話です。「私たちは食べ物を食べて生きている。生きることは食べること。全ての食べ物は命だ。人が生きるということとは、命を頂くこと、殺すこと。私たちの命は、多くの命を支えられている。それを実感したときに、食べ物のありがたみ

がわかる。食べ物を粗末にしてはならないとわかる。」（本文より抜粋）他のものの命を頂、生きる私達、食育・生教育は、子どもの心を育むものと思います。ぜひ学校等で読み聞かせてください。



いぶきあきむね

今年の夏はどうなっているのでしょうかね。

もう木の葉も落ち始めているし、畑シメジも終わってしまいました。蝉の鳴き声聞きましたか？

実は庭に野鳥とリスのためのえさ台があります。先日、ひまわりの種を持っていて気がついたのですが、えさ台の裏に幼虫2匹とまだ白い成虫がいました。翌朝いってみると成虫は2匹、幼虫1匹に代わっていました。せっかく脱皮したのに彼らは鳴けるのでしょうかね。ちなみに成虫の寿命、本当は1カ月だそうです。

お知らせのコーナー

第53回 北海道社会教育研究大会（根室大会） 兼 全国社会教育委員連合北海道ブロック大会

平成25年9月19日（木）～20日（金）

19日 13:00～17:00 20日 9:30～12:30

根室市総合文化会館



別海町文化・スポーツ功労者表彰

今年も表彰候補者の募集を行います！

身近にいるがんばっている方の推薦をお待ちしています♪



そうだったのか！社会教育&公民館 Vol.1

このコーナーでは“社会教育”“公民館”にまつわる疑問・質問を解決していきます！

Question 1

近年、『社会教育委員』『公民館運営審議会委員』が形だけのものになっているという指摘があります。それを改善するにはどのようなことに気をつけなければならないですか？

皆さんからの
疑問・質問もお待ちしています！

“住民の思いを社会教育活動・公民館活動に反映させるためのパイプ役”

ズバリ！これが社会教育委員・公民館運営審議会委員を設置している理由なんです！

いろんな分野の方を委員に選ばせていただいているのもこの理由からです。

様々な分野からの目線で社会教育・公民館活動を見ていただき、住民の『今』と合っている活動が、住民が本当に求めている活動が、を考えてもらい教育委員会にアドバイスをしていただく。これが社会教育委員・公民館運営審議会委員の役割です。

決して形だけで設置しているわけではないのです！

形だけにならないように私たち教育委員会からお願いしたいことは、社会教育活動・公民館活動に対する住民の思いを聞いていただきたいということです。わざわざ集会や集まりを開いてもらわなくても、世間話や飲み会の場での話などふとしたときに出るつぶやきや思いを教えていただきたいのです。

私たち教育委員会が、住民の社会教育活動・公民館活動への思いを事業に反映していくには、社会教育委員・公民館運営審議会委員の皆さんの協力が必要不可欠なのです。



（参考文献）・社会教育委員のための Q&A（社団法人 全国社会教育委員連合）

・よくわかる公民館のしごと（社団法人 全国公民館連合会）

編集：山田 恭子